

## 上海・ロックダウン期間中の市民生活

中国・上海市の都市封鎖（ロックダウン）は、3月下旬の開始から1ヵ月以上が経過し、感染者数もようやく減少傾向となってきましたが、依然として解除の目処は立っていません。日本でも各種報道がなされていますが、市民の置かれている状況は千差万別であり、多くの人がストレスフルな生活を余儀なくされています。今回はそんな市民生活の状況についてお伝えします。

### ◆ 食料事情

調達手段は配給、ネットでの個人購入、団体購入のほか、同じ建物内での物々交換等も行われています。しかし、居住地域によって状況は全く異なり、例えば配給では、週1回以上大量に配られている所もあれば、ほとんど何も配られていない所もあります。ネット購入も需要が供給を大きく上回っているため、品揃えの偏り・品薄・価格高騰に加え、商品はあっても配送手段が確保できずに入手できないこともあります。現地中国人など近隣コミュニティが確立している人達の間では、物々交換も効果的に機能しています。

### ◆ 配送体制

調達した食料などは主にバイク便で配送されます。上海ではロックダウン以前からバイク便による配達で市民生活を支えていました。ところが、このバイク便が感染を媒介しているとの問題視されてしまっています。現地報道によると、バイク便の配送者は自宅に帰ると隔離対象となり外出が出来なくなるため、路上生活を送っている人が相当数いたようです。最近になり当局も専用の宿泊場所や検査体制の整備に着手しましたが、配送先となるマンション等でも、生活必需品のみ必要最低限の購入を住民に呼びかけ、配送物は外装を消毒薬で厳重に殺菌し、薬液まみれの物が自室前に運ばれてくるなど警戒感に溢れています。

### ◆ 外出状況

上海市は宮城県と同程度の面積の9割ほどの広さがあり、条件付きで外出が認められるようになったのは郊外の一部の地域のみです。ほとんどの地域は依然として外出がほぼ不可能となっており、特に市内中心部では基本的に部屋から出ないことを求められ、外出することができたとしても玄関先などの敷地内のみです。

### ◆ 移動手段

市内を移動するには外出許可の取得と移動手段の確保が必要です。通行許可証を持つ車両は数も少なく料金も高額となっており、年度替りの異動で帰任予定であった人が空港に行くことができず帰国を延期したり、コロナ以外で体調が悪くなった人がすぐに病院に行くことができなかったケースも生じています。

### ◆ 今後の見通し

5月9日時点の上海市内の1日あたり新規感染者数は3,014人と、4月のピーク時に2万人台が続いた状況から大きく減少しましたが、想定よりも鈍い減少ペースとなっています。そのため、今後は地域ごとの感染者の発生状況に応じた部分的な封鎖解除を模索する動きが出てきましたが、ゼロコロナ政策を堅持する姿勢は明確に示されており、全面解除にはもう少し時間がかかりそうです。（上海駐在員事務所 澤田洋介）

#### 【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室  
TEL.022-211-9880

#### 【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

[https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter\\_next/](https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/)



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。